

令和8年 第13回八雲町議会全員協議会会議録

令和8年7月24日 議員控室

○報告事項

(1) 車検切れ公用車（保育園送迎用）の運行について（住民サービス課）

○出席議員（13名）

議長 大久保 建 一 君
赤 井 睦 美 君
横 田 喜世志 君
関 口 正 博 君
水 野 博 美 君
安 藤 辰 行 君
斎 藤 實 君

副議長 宮 本 雅 晴 君
牧 野 仁 君
黒 島 竹 満 君
倉 地 清 子 君
寺 田 広 樹 君
小 西 雄 一 君

○欠席議員（1名）

三 澤 公 雄 君

○出席説明員（6名）

町長 萬 谷 俊 美 君
住民サービス課長 北 川 正 敏 君
総務課長 川 崎 芳 則 君

副町長 竹 内 友 身 君
住民サービス課長補佐 成 田 真 介 君
建設課長 横 田 盛 二 君

○出席事務局職員（2名）

事務局長 野 口 義 人 君

議事係長 千 代 貴 大 君

◎ 開会・議長挨拶

○議長（大久保建一君） おはようございます。それでは、令和8年第13回全員協議会を始めたいと思います。議長挨拶とありますが、そろそろ学校等ではもう夏休みに入っております。皆さんも夏季休業等入ることがあると思いますので、車の台数多くなっておりますので交通安全ならびに交通違反等、国会議員とかでいろいろ話題になってますけれども、交通違反等ないように気をつけていただきたいと思います。

【住民サービス課職員入室】

【建設課職員入室】

◎ 報告事項

○議長（大久保建一君） それでは、報告事項に入りたいと思います。1番、車検切れ公用車の運行について報告をお願いいたします。

○町長（萬谷俊美君） 議長、町長。

○議長（大久保建一君） 町長。

○町長（萬谷俊美君） おはようございます。報告事項なんですけれども、今回、熊石総合支所の住民サービス課所管の保育園児の送迎用の公用車の車検を取るのを忘れて運行したということの内容についてですね、担当のほうから説明させていただきますので、よろしくお願いします。

○住民サービス課長（北川正敏君） 議長、住民サービス課長。

○議長（大久保建一君） 住民サービス課長。

○住民サービス課長（北川正敏君） それでは、私のほうから概要についてご説明させていただきます。別紙お願いいたします。

住民サービス課が管理し、熊石高齢者事業団に運転業務を委託している、くまいし保育園送迎用公用車におきまして、車検の有効期限が切れた状態で園児の送迎運行を行ってございましたことについて、ご報告とお詫びを申し上げます。

何よりも子どもたちの安全を守るべき立場でありながら、道路運送車両法に関する無車検状態で運行を行い、対象となる園児、保護者をはじめ、町民の皆様、そして、議員各位に多大なるご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

対象となりました車両は、住民サービス課が管理していたトヨタハイエースでございます。車検の有効期限は、令和8年6月26日でございましたが、令和8年6月29日から7月15日までの17日間のうち計12回にわたり、園児1名の送迎運行を車検が切れた状態で行っていました。

なお、自賠責保険の有効期限は、令和10年7月24日までであり、保険自体は有効な状態でありました。この事案が判明した経緯についてでございますが、令和8年7月15日水曜日に運行委託先である高齢者事業団のドライバーから車検が切れているのではないかとの指摘を受け、確認したところこの事実が判明したもので、判明後は直ちに当該車両の運行を停止しました。

重大な過失を招いた原因につきましては、主に3点あると考えております。

1つ目は、車両管理における確認不足とチェック機能の欠如です。当該車両が今年車検該当年であることは認識しておりましたが、管理が属人的な扱いとなっており、車検期限を複数人でチェックする体制が整っておりませんでした。

2つ目として、安全管理に対する意識の希薄化です。保育園の送迎という高い安全性を求められる業務であるにもかかわらず、日々の業務の中で管理意識が甘くなり、車検という極めて基本的な期限の確認がおろそかになっておりました。

3つ目として、運行委託における責任分担の曖昧さと情報共有の不徹底であります。高齢者事業団へは運転業務のみを委託していたため、車両の維持管理責任は町側にございましたが、運行前点検を行う高齢者事業団のドライバーと我々の間で車検シールや車検証の有効期限について確認、共有し合う具体的なルールが徹底されておりました。

疑惑が判明した7月15日以降の対応状況についてですが、当該車両での運行停止後、直ちに総合支所が所管する他の車両を代替として確保し、園児の登降園に支障が生じないよう必要な送迎業務は継続して行っております。

次に、道路運送車両法等に違反する状態での運行であったことから、判明当日の15日に電話にて八雲警察署へ第一報を入れ、翌16日には署を訪問し、詳細な経緯について正式に報告いたしました。

そして、送迎車を利用していた園児の保護者に対し、直接事態の経緯を説明するとともにお詫びを申し上げました。今後、二度とこのような事態を起こさないための取り組みとして、まずは、運転を委託している高齢者事業団と連携し、運行前点検表の項目に車検、自賠責の有効期限が切れていないかの目視をすることを追加します。ドライバーと町側双方が運行前に必ず期限を確認する体制を義務づけ、現場レベルでのミス防止を徹底していきます。

次に、これまで各課係における個別管理を見直し、町全体で保有するすべての公用車について、建設課が中心となって統一した管理データを作成、管理し、この管理データを各課と常時共有、運用することで全庁的なダブルチェック体制を構築し、組織全体で確実に防ぐ仕組みを作ってまいります。

今回の事案は、行政に対する町民の皆様の信頼を著しく損ねるものであり、重ねて深くお詫び申し上げます。今後は、法令遵守と安全運行の徹底を図り、町民の皆様、そして、こどもたちの安全、安心を最優先とした行政運営に努めてまいります。

以上、報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（大久保建一君） 報告が終わりました。質問等があれば受け付けいたします。

○議員（牧野 仁君） はい。

○議長（大久保建一君） 牧野議員。

○議員（牧野 仁君） 今、ご説明の中で2点ほど確認させてください。車両状況について、車検有効期限が令和8年6月26日って書いてますけれども、これは2年おきの車検なのか。それって前回車検取ってると思うんですけど、民間からの車検のご案内とか来てるかどうか。

もう一点はですね、自賠責なんですけれども、普通車検と同じように8年で切れるんじゃないかな。それが10年だった理由をちょっとお聞きしたいと思います。

○住民サービス課長（北川正敏君） 議長、住民サービス課長。

○議長（大久保建一君） 住民サービス課長。

○住民サービス課長（北川正敏君）　まず、車両ですけれども、2年ごとの車検を受ける車両でございました。それと、自賠責の有効期限ですけれども、車検をとる年のものですから更新が先に来るんですよ。それで、もうすでに手続きはとっておりまして、10年の7月24日までに延びていると。もともとは8年の7月24日までの自賠責の有効期限だったんですけども、自賠責の部分は事前に支払っていますので、保険が効いている状態になっている。

○議長（大久保建一君）　牧野議員。

○住民サービス課長（北川正敏君）　あ、それと。議長、住民サービス課長。

○議長（大久保建一君）　住民サービス課長。

○住民サービス課長（北川正敏君）　あと、車検案内なんですけれども、個人の車に対しては、ディーラーだったり、車屋さんから1ヶ月、2ヶ月ぐらい前には案内来ていると思うんですけども、役場の車両は、基本的に車検出すときには見積合わせで業者決定しますので、そのような案内が届かないといえますか。

まあ、係なり課で管理して常識的なことなんで案内がなくてもやらなきゃいけないというのは絶対なんですけども、そういう状況です。

○議員（牧野　仁君）　わかりました。ちょっとうちの民間とちょっと違いますね。今言った自賠責保険は同時進行ではないということですね。じゃあ、その時点というのも更新する側あたりでは、確認はしてるということですよ。

○住民サービス課長（北川正敏君）　議長、住民サービス課長。

○議長（大久保建一君）　住民サービス課長。

○住民サービス課長（北川正敏君）　おっしゃるとおりで、自賠責の保険料の支払いがきたときに車検しなきゃいけないという思いは持ってたんですけども、まあ、言い訳でバタバタしてまして、しっかりしてないということ。

○議員（牧野　仁君）　わかりました。

○議長（大久保建一君）　あれですよ。車検する事業者と自賠責を取り扱いする事業者が別々だということですね。

○住民サービス課長（北川正敏君）　はい。

○議長（大久保建一君）　他、質問ございますか。

○議員（横田喜世志君）　はい。

○議長（大久保建一君）　横田議員。

○議員（横田喜世志君）　まあ、なんか記憶ではね、昔もなんかそんなことがあったような記憶があるんです。それで、その時も似たような対応っていうのがあったと思うんですが、これでいけば一番最後のね、車両管理データ作成と共有っていう部分で、建設課のほうで町の保有する車全部かわかるようにするということなんだけど、それやっても各課の担当課でなんかアクションしないとそういう対処っていつまでたっても難しいんじゃないかと思うんだけど、その辺の考え方っていうのはどうなんでしょうね。

○建設課長（横田盛二君）　議長、建設課長。

○議長（大久保建一君）　建設課長。

○建設課長（横田盛二君） まず、建設課の台帳化の話なんですけど、建設課自体は車両を押さえていたんですが、基本的に自動車の共済保険の関係で更新手続きを取るために抑えていたということでもあります。

今後はですね、各車両、実際、病院ですとか熊石地域に入れて168台ということですから、ナンバーありなしも含めて台数が多くなりますが、全庁的にですね、どの期間で車検が切れるかという部分の台帳を建設課のほうで作成をまずしたいというふうに考えております。

それで、あとですね、原課の部分もそうですが、車検が切れる前の前の月くらいにですね、役場の庁舎内で建設課から具体的に車検が切れる担当課のほうにおそらくお知らせをするということも今後はやって、ダブルチェックでこういったことが今後はないようなかたちで台帳化を進めていきたいというふうには考えてございます。

○議長（大久保建一君） よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○議長（大久保建一君） なければ私から。民間であれば、車両整備計画って年当初に3カ月点検だとか車検だとかって作らなきゃならないんですけど、そういったものはないんですか。

○建設課長（横田盛二君） 議長、建設課長。

○議長（大久保建一君） 建設課長。

○建設課長（横田盛二君） 車両整備計画というのは、今作っていないような状況で。

○議長（大久保建一君） 今まではないという状況ですか。

○建設課長（横田盛二君） 各担当者ごとにスケジュール管理をされているということになってございます。繰り返しになりますが、この160台を超えるような台数を建設課が一括してそういったそのスケジュールリングですか、できるかということかなりハードルが高いということで考えておりますので、その辺はですね、きちっと台帳整備をしながら、最低限車検の整備がいつ切れますよという部分を建設課としても原課に注意喚起を徹底してまいりたいというふうに考えております。

○議長（大久保建一君） ほか。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） お伺いさせてください。この車両についてなんですけれども、これは保育園の送迎用の専用車という考え方でよろしいでしょうか。

○住民サービス課長（北川正敏君） 議長、住民サービス課長。

○議長（大久保建一君） 住民サービス課長。

○住民サービス課長（北川正敏君） 2つあった保育園を統合するときに園舎が30、40年近くたってるんで、老朽化が進むと。

それと、子どもの数が両方の保育園になるんで1つにしたほうがいいんじゃないかという話から、統合をして今の場所に保育園を建てたんですけれども、その時の保護者との話し合いの中で当然相沼側の親からは、連れていくのに倍以上の相当な時間がかかるし、江差、乙部に働きに行っているようなお母さん、お父さんがいると逆方向に送ってから職場に向かわなきゃないということもあるものですから、スクールバスの会社がやってるので、まずはスクールバスに乗せて送迎とかできないのかという話から始まったんですが、スクールバスだとちょっとやっぱり危険だなということで、ワゴン車にシートを設置して専用車両として扱ってるっていう車です。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） 今の人数が1名ということで、この高齢者事業団の方々もこうやってお手伝いいただいていることには感謝なんですけれども、効率性ということを考えたときにね、先ほど建設課の課長も車両管理のことを申し上げてましたけれど、熊石内でもっと効率的な運用ましては、こういうことが起こる可能性があるとするれば、ましてや、財政健全化という部分も行っておりますので、そのスクールバスの代行運用だとか、もしくは民間事業者をお願いして、じゃあ、それで費用対効果がどの程度違うのかということはあるけど、維持費といろいろなものを考えて、今後の運用というものは、ちょっと考えていったほうがいいんじゃない。

劇的に保育園の人数が増えるのであれば別ですけれども、今はそういう予測ではないですよ。ね。だったら、効率化の方向で動いていったほうが、考えていたほうが再発防止はもちろんなんだけど、そこも同時進行で考えていったほうがいいんじゃないかと思うんですよ。

○住民サービス課長（北川正敏君） 議長、住民サービス課長。

○議長（大久保建一君） 住民サービス課長。

○住民サービス課長（北川正敏君） おっしゃるとおり保育園は今現在9名の子どもが来ておりますけれども、そのうち送迎の対象になる相沼地域に住んでいるお子さんがうち5名いるということで、今、今回利用している子どもも2歳児なものですから、あと3年は確実に利用すると思いますので、その後、子どもが相沼地域からそういう子がいなくなれば、車両は一時ストップといいますか、そういうふうに考えていきたいと思います。

議員おっしゃるとおり、効率化的なことを考えると他の方法も検討していかなくはないとは思いますが、今現在そういう状況なものですから、いろいろな方法を検討していきたいと思います。

○議員（関口正博君） はい。

○議長（大久保建一君） 関口議員。

○議員（関口正博君） お互いに仕事が楽になるようなことをしっかり考えて、さらには、親御さんに当然ご迷惑おかけしないように保育園の統合っていうことは、行政の都合で行ってきたことなんで、今までの経緯は分かるんですけども、今後のことは効率化ということを再前提においたかたちで将来的に運用できるようなかたちにしていいただければなと思います。お願いします。

○議長（大久保建一君） ほか。

（「なし」という声あり）

○議長（大久保建一君） ないようなので、この点については報告済みといたします。報告者の皆様、ご苦労様でした。

【建設課職員退室】

【住民サービス課職員退室】

◎ その他

○議長（大久保建一君） 次4番、その他に入りますけれども、その他を持ち合わせの方いらっしゃいますでしょうか。事務局はよろしいですか。

○議会事務局長（野口義人君） LINE で周知してありますが、8月10日月曜日10時から第5回臨時会を予定していますので、また3日前にご案内申し上げますので、よろしくお願いします。

○議長（大久保建一君） はい。それでは、その他がないということなので終わりたいと思いますが、8月27日次の議運がございます。皆様の各会派にですね、議員定数について各会派で話し合ってきてくれという宿題を出されておりますので、27日まで各会派で考えをはっきりさせていただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして、令和8年第13回全員協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。

〔閉会 午前10時17分〕